

チーム石小 すべての学ぶ子供たちのために すべての学ぶ子供たちのために

I 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、自己をみがき、人や地域、自然と豊かにかかわり、基礎力、思考力、創造の知恵や実践力を備え、他者と協働して、高い志と意欲をもち、新しい時代を切り開く資質・能力をもつ児童を育成する。

- よく考える子
- ◎ 思いやりのある子
- 根気よくやりぬく子
- 元気な子

II 学校経営の基本的な考え方

教育とは、未来を創造する営みです。石神井小で学ぶ子供たちが、健やかに育ち、素晴らしい日本を創造していくことが私たちの使命であることを深く自覚し、この学校にかかわるだれもが「石神井小でよかった」を感じる学校づくりを目指します。

そのため、練馬区『「みどりの風吹くまちビジョン」施策の柱1子供たちの笑顔輝くまち』を受け、夢や目標をもち、困難を乗り越える力を備えた子供たちの育成をめざし、知・徳・体の調和のとれた教育を推進します。

III 目指す学校像

子供が満足する学校

子供が満足する学校とは、
○自分の成長を実感できる
○自主的・自治的に自分たちで学校生活をつくる学校です。

できるようにしてほめておわる

保護者が信頼する学校

保護者が信頼する学校とは、
○子供の成長が実感できる
○学校の教育活動が見える学校です。

情報連携と行動連携

地域が誇りに思う学校

地域が誇りに思うとは、
○これまでの歴史、伝統を大切にする
○地域の方が応援したくなる学校です。

地域にひらかれた学校づくり

職員がやりがいをもつ学校

職員がやりがいをもつ学校
○一人一人が職責を自覚し力を十分に発揮する
○自分の貢献の成果が実感できる学校です。

専門性に基づくチーム体制の構築

令和7年度の達成目標と具体的な方策 ―教育活動の充実について―

(1)人権尊重の精神及び豊かな人間性を育てる教育の推進

- ①道徳教育、道徳の時間の充実「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成」
- ②道徳授業地区公開講座の実施「開かれた学校教育の推進」
- ③時間を守る学校生活「時間の大切さの理解」
- ④一貫した生活指導「基本的生活習慣の確立」 あいさつ 授業規律

オ「おはようございます」	ア「ありがとうございます」
シ「しつれいします」	ス「すみません」
サ「さようなら」	

- ⑤児童一人一人を理解「児童個人面談の実施」
- ⑥健全育成及び命を大切にする教育の推進「いじめ未然防止、不登校にさせない指導」
- ⑦特別支援学級との交流「相互のふれあいを通じて、豊かな人間性を育む」

(2)確かな学力及び主体的に学習に取り組む態度を身に付けさせる教育の推進について

- ①指導計画に基づく意図的・計画的な授業の実施「主体的、対話的で深い学び」
- ②指導体制「算数少人数、ALT」
- ③読書活動「学校図書館員との連携、石神井図書館との交流」
- ④国及び東京都学力調査「結果を指導にいかす」
- ⑤指導と評価の一体化「学習指導の在り方の見直し、個に応じた指導の充実」
- ⑥教員の研修「OJT研修」
- ⑦ICT教育、プログラミング教育の推進「情報活用能力の育成」
- ⑧多様な教育課題への対応「より広く深く学習するために」
- ⑨家庭学習の推進「学習意欲が向上する指導 主体的に学習に取り組む指導」
- ⑩地域との交流「ふるさと文化館、富岡農園、JA東京あおばでの学び」

(3)健康の保持増進及び体力の向上を図る教育の推進について

- ①体育学習「運動の多様な楽しみ方を味わう」
- ②体力テスト「子供の体力・運動能力の向上」
- ③健康教育（学校保健、学校安全、食育）「児童の健康の保持増進」
- ④保護者向けリーフレットの活用「子供たちを取り巻く環境と、これからの健康教育」
- ⑤「学校2020レガシー」構築に向けた取組の推進

(4)特別支援教育の充実について

- ①組織的な対応「専門性の向上」
- ②関係諸機関、保護者との連携「相談、面談、支援の充実」

(5)小中一貫教育の推進

- ①児童、生徒の交流「なめらかな接続による安定した学校生活」
- ②カリキュラムの接続「授業改善による学力・体力の向上」
- ③連携指導「豊かな人間性、社会性の育成」